

令和4年度 事業計画  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

社会福祉法人ピースオブマインド・はまゆう

## 【法人基本理念】

社会福祉法人ピースオブマインド・はまゆうは、家族会がこの地域に起こした障がい者福祉のともし火を絶やすことなく、利用者一人ひとりの想いに寄り添います。

誰もが公平で『人として当たり前の生活を当たり前に送ることができる社会』の実現に努めます。

そのために、社会福祉法人としての使命を自覚し、健全で活力あふれる障がい者福祉事業を推進します。

## 【法人基本方針】

### 一、法令の遵守

私たちは、法令を遵守して、地域から信頼される法人であり続けます。

### 一、利用者の権利の尊重

私たちは、すべての利用者の意見を尊重し、自分らしさの実現を支援します。

### 一、地域福祉の推進

私たちは、地域のニーズに応え、公益的な取り組みを推進します。

### 一、経営の安定

私たちは、公正かつ透明性の高い適正な経営を図りながら、経営基盤の安定に努め、社会福祉法人としての社会的貢献を果たします。

### 一、人材の育成

私たちは、専門家としての自覚を持ち、創造性と向上心を発揮し続ける職員を育成します。

### 一、職場環境の充実

私たちは、心身共に健康で、安心して長く働ける職場環境をつくります。

以上の法人基本理念及び法人基本方針を正しく理解し、具現化すべく、令和4年度の事業計画を立案しました。

## 【法人概要】

- 事業内容：A) 指定障害福祉サービス事業
  - ①ワークステーションほっぷ（就労継続支援B型）
  - ②ライフステーションすてっぷ（同上）
  - ③野の花工房（就労継続支援B型、就労定着支援）
  - ④ひびき工房（就労継続支援B型）B) 指定特定相談支援事業
  - ①指定特定相談支援事業所はまゆう
- 本部所在地：山口県下関市武久町一丁目5番14号第3金家ビル2階
- 事業所在地：A) ① 及び B) ① 同上
  - A) ②山口県下関市長門町10番1号長門ビル3階
  - A) ③山口県下関市菊川町大字田部907番1号
  - A) ④山口県下関市豊浦町大字川棚分瀬6339番15号  
山口県下関市豊浦町大字宇賀7427番1号（出張所）

## 1. 福祉サービス事業本部及び法人本部事務局

### 【法人ミッション】

「最高の福祉サービスを提供する。」

※前年度までは「法人ターゲット（法人としての目標）」としていましたが、今年度からは意味合いとして更に上位となる「ミッション（法人として果たすべき使命）」とします。

### 【令和4年度基本方針】

新型コロナウイルス感染状況が不透明な現状ではありますが、令和4年度が始まります。本来であれば4年度は報酬改定年ではありませんが、政府の打ち出した医療・介護・障害福祉職員に対する新たな処遇改善策として令和3年2月より実施されている補助金制度に代わるものとして、10月より新たな加算の創設に伴う報酬改定が予定されています。

また今後の法人経営に関して、現在賃貸物件で事業運営を行っている部署のうち、法人本部及びワークステーションほっぷ、相談支援事業所はまゆうの入っている武久拠点を自社物件にすることを計画しております。4年度中に土地の確保を行うとともに、新社屋建設に向けた諸計画を提案させていただきたいと考えております。

以下、項目別に基本方針を記していきます。

#### 1. 新型コロナウイルス感染予防対策

新型コロナウイルス感染症は新たな変異株での数度にわたる感染拡大が続き、現時点では終息に向けた見通しが不透明な状況にあります。国内でも3回目のワクチン接種や、治療薬の開発・新規承認など、少しずつ対策が増えつつありますが、法人としては引き続き拠点毎

に実施中の各種感染予防対策を継続・強化し、利用者の方が安心してサービスを利用でき、職員も安心して業務に従事できるようにしていきます。

## 2. 現行サービスの安定運営と、今後を見据えた新サービスの検討

法人の経営する福祉事業について、まずは安定運営を図ることが基本です。2年に渡り続く新型コロナウイルス禍の中ではありますが、就労継続支援 B 型事業所への通所者数や、通所者の方へ提供する就労作業量等については共に対前年比増傾向を維持してきています。4年度も、就労継続支援 B 型事業の特性でもある多様なニーズの方への個別相談支援を行うとともに、工賃向上等のニーズにも応えていけるようにすることで、対前年比増の計画としています。

一方で、事業を展開する下関市域における今後の人口動態等も見据えた中長期的な事業展開を検討する必要性もあります。比較的短いスパンでの事業計画上、参考とするものとして令和 3 年 3 月に策定された「下関市障害福祉計画（第 6 期）・下関市障害児福祉計画（第 2 期）」が挙げられます。令和 5 年度までの 3 か年計画である本計画では、少子高齢化の進行の反面、身体障害を除く知的障害、精神障害の各種手帳所持者数は増加傾向にあり、いずれも最重度（療育 A、精神 1 級）以外の等級が増えている現状が見られます。

現在法人が経営している就労継続支援 B 型サービスを利用する見込み人数も、同計画では令和 3 年度の一日当たり 11,774 人が令和 5 年度には同 12,297 人へ増加すると計画されています。従って 5～7 年スパンでの中期的には、安定経営が見込まれます。

しかしながら、令和 2 年 3 月の「下関市人口ビジョン（改訂版）」によれば、市の人口は令和 22（2040）年には 20 万人を下回り、同 47（2065）年には今の人口の約半分となる 13 万人にまで減少していく見込みで、高齢化率も 41.2%となるとされています。また、法人経営の事業所に関しても、新たな利用者を受け入れていく一方で既存の利用者は年齢を重ねていく割合も増えていくことが予想されます。

これらの状況を分析しながら、既存の利用者ニーズや地域状況から予測される新たなニーズに対応できる新サービスの検討も進めていきます。

## 3. スタッフ採用・育成・定着

令和 4 年度入職者として、法人発足後初めて大卒新人 1 名を採用します。次年度以降も計画的に新採用・育成・定着施策を実施する予定です。また資格取得支援策（特別休暇付与によるスクーリング参加等）の充実など、実効性の高い施策推進を引き続き行います。

2 年間に渡り続く新型コロナウイルス感染症への予防対策で、集合形式による法人全体研修等が滞りがちですが、オンライン形式の導入や、少人数形式で感染予防対策を十分に講じた上での集合研修等、可能な形での社内教育機会の提供を計画していきます。外部研修の多くはオンライン研修となっており移動時間等の解消や経費削減効果も高く、スタッフ毎の人材育成に資する内容の研修について、より多くのスタッフへ受講してもらい、資質向上に結び付けたいと考えています。

また、法人経営事業に必要なサービス管理責任者資格研修等について、計画的な職員の受講を進めていきます。

#### 4.健全な財務規律の確立

ここまでに記載してきたように、令和4年度は武久拠点の移転計画初年度にあたる等、これまでにない法人資金の動きがあります。また中長期的な計画に向け、これまで以上に事務局による適正な財務管理が必要です。適正な収益を確保し安定的な財務基盤を確立するため、経営状況、事業予算の執行状況を適宜に把握し、月次決算の徹底を図ります。

#### 5.社会福祉法人に求められる役割の推進

引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらではありますが、「下関市社会福祉法人地域公益活動推進協議会」を通じての取り組み（総合施設長が引き続き運営委員として参加）のほか、社会情勢を見ながら可能な取り組みを鋭意推進していきます。

#### 【評議員及び役員等の構成】

評議員	理事	監事
9名	7名	2名

#### 【法人評議員会、理事会など開催計画】

評議員会	令和4年度定時	令和4年6月中旬	前年度事業報告書、会計決算報告書、その他
理事会	令和4年度第1回	令和4年6月上旬	前年度事業報告書、会計決算報告書、その他
	令和4年度第2回	令和4年11月中旬	理事長専決事項の報告、その他
	令和4年度第3回	令和5年3月中旬	次年度事業計画書、会計予算関係、その他

#### 【積み立て金状況】

単位：千円

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	累計
工賃変動	1,053	299	500	500	1,266	544	—	—	4,162
GH開設準備	7,319	5,000	5,000	681	2,701	500	1,000	1,000	23,201
野の花工房土地購入	—	—	—	—	—	3,000	—	—	3,000
人件費積立金		2,000					2,000	2,000	6,000

備品等購入積立金		4,000		1,000	1,500	1,000	1,000	1,000	9,500
修繕積立金					1,000	2,000	1,000	1,000	5,000
武久拠点移転準備積立金							10,000	5,000	15,000
合計	13,372	21,299	10,500	9,181	14,467	4,044	15,000	10,000	65,836

**【管理職、施設管理者、サービス管理責任者配置】**

法人本部	
総合施設長	土井 健一
副総合施設長	平川 龍
事務局長	村田 清美

	相談支援事業所はまゆう	ワークステーションほっぷ	ライフステーションすてっぷ	野の花工房	ひびき工房
施設管理者	土井 健一	平川 龍	近藤 智子	澄田 大介	岡村 健士
サービス管理責任者	—	平川 龍	近藤 智子	赤松 和子	長尾 和恵

**【各部署職員配置計画】** ※常勤、非常勤を併せて表記しています。( ) は兼務

部署名	福祉サービス事業本部	事務局	相談支援	WSほっぷ	LSすてっぷ	野の花工房	ひびき工房
総合施設長	1						
副総合施設長	1						
事務局長		1					
事務員		2			1		
施設管理者			1	1	1	1	1
サービス管理責任者				(1)	(1)	1	1

目標工賃 達成指導員				1	1	1	1
生活支援員				4 (2)	6	2	3 (1)
職業指導員				6 (1)	3	3 (3)	2
送迎員						2	1
就労定着 支援員						1 (1)	
相談支援 専門員			2 (1)				
合計(実人数) 41名	* (2)	3	2 * (3)	9 * (12)	12 * (12)	7 * (11)	8 * (9)

\* ( ) 内の人数は兼務者を含めた人数

## 【会議等】

### (1) 会議・委員会

会 議	会議名称	開催頻度等	出席の範囲 (基本)	備考
	法人運営会	随時	理事長・総合施設長・副総合施設長・事務局長	
全体会	年3回	全職員	R3年度は1回のみ	
施設運営会議	1回/月	総合施設長・事務局長・施設管理者・サービス管理責任者		
はまゆう活性会議	概ね2~3か月毎	事務局長・副総合施設長・目標工賃達成指導員		
施設・保護者等連絡会	随時	保護者等・理事長・総合施設長・事務局長・各施設職員	R3年度は未開催	

### (2) 委員会

委 員 会	教育委員会	1回/月	教育委員(施設運営会議出席者)	
	虐待防止委員会及び身体拘束委員会	同上	理事長・総合施設長・副総合施設長・事務局長・他施設運営会議出席者	施設運営会議と同時開催
	リスクマネジメント委員会	同上	同上	同上
	感染症対策委員会	1回/3か月	同上	同上
	コンプライアンス委員会	随時	理事長・総合施設長・副総合施設長・事務局長・施設管理者	
	危機管理委員会	危機発生時	同上	
	ハラスメント防止委員会	随時	同上	

## 2. 指定障害福祉サービス事業

### ① ワークステーションほっぷ（就労継続支援 B 型）定員 30 名

#### 【運営方針】

- ・利用者への精神的なサポート強化による、安定通所支援。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策の継続強化。
- ・平均利用者数の増加を図る。
- ・レクリエーションの実施によるリフレッシュの場を提供する。
- ・新規利用者獲得のための諸施策実施  
⇒事業所案内チラシの作成と関係機関（ハローワーク、総合支援学校、相談支援事業所等）への配布と広報活動の実施。
- ・関係法令の遵守。
- ・スタッフミーティングによるスタッフの資質向上とチームワーク強化。

#### 【就労支援活動】

※目標工賃達成に向けた以下の取り組みを実施する。

- ・施設外就労へ参加可能利用者数の向上を図る（工賃向上に直結している）。
- ・利用者個々のスキルアップ支援により、現行作業の受注量増加を図る。
- ・新規作業受入れの余地を作る。

	施設内	施設外就労
作業内容	自転車部品組立、チラシ折、リサイクル回収	公園内清掃及び草刈・除草(市委託事業)、施設内清掃、取引先企業内での軽作業（自転車部品の組立）

#### 【生活支援活動】

- ・季節に応じたレクリエーション活動の実施（下表参照）。
- ・防災訓練の実施による防災意識向上と非常時対応の習得（年間 4 回実施）。

#### 【個別支援活動】

- ・個別支援計画に基づいた個別ニーズ達成のための個別支援の実施。
- ・通所場面から聞き取った内容に基づき、生活面での必要な支援に関する関係機関との連携による支援の実施。

#### 【行事計画】

年 月	行事内容等	備 考
4 月	お花見	
6 月	梅雨払い会（食事会及び風船バレー大会等）	
1 2 月	忘年会（食事会及びビンゴ大会）	



### 【基本日課表】

9：00～	スタッフミーティング
9：20～	朝礼・作業1
10：30～	休憩①
11：00～	作業2
12：00～	昼食・休憩②
13：00～	作業3
13：45～	休憩③
14：15～	作業4
15：00～	掃除・終礼・帰宅

### 【数値指標】

一日平均利用者	定員の100%を目指す
年間稼働日数	239日
目標工賃月額	20,000円

## ② ライフステーションすてっぷ（就労継続支援B型）定員40名

### 【運営方針】

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策の継続強化。
- ・平均利用者数の維持及び利用率の増加を図る。
- ・レクリエーションの実施によるリフレッシュの場を提供する。
- ・「すてっぷアップ教室」（火・木；パソコン教室等、社会生活技能訓練、ペン習字等の職業訓練的要素のプログラムや、音楽鑑賞、塗り絵等のレクリエーション的要素のプログラム）を継続、利用者の様々なニーズに沿った支援を行い、精神面の安定・作業意欲とモチベーション向上を図る。
- ・関係法令の遵守。
- ・スタッフミーティングによるスタッフの資質向上とチームワーク強化。

### 【就労支援活動】

※目標工賃達成に向けた以下の取り組みを実施する。

- ・利用者個々のスキルアップ支援により、現行作業の受注量維持及び向上を図る。

	施設内	施設外就労
作業内容	自転車部品組立、リサイクル回収	草刈・除草・清掃作業（年間数回のスポット的委託）

### 【生活支援活動】

- ・季節に応じたレクリエーション活動の実施（下表参照）。
- ・防災訓練の実施による防災意識向上と非常時対応の習得（年間3回実施）。

### 【個別支援活動】

- ・個別支援計画に基づいた個別ニーズ達成のための個別支援の実施。
- ・通所場面から聞き取った内容に基づき、生活面での必要な支援に関する関係機関との連携による支援の実施。

### 【行事計画】

年 月	行事内容等	備 考
4 月	お花見	
1 0 月	紅葉狩り	
1 2 月	お疲れ様会（食事会）	

### 【基本日課表】

9：00～	スタッフミーティング、送迎（一部利用者）
9：20～	朝礼・ラジオ体操
9：30～	作業1
10：30～	休憩①
(10：45～11：00)	延長作業1（希望者）
11：00～	作業2
11：45～	昼食・休憩②
(12：45～13：00)	延長作業2（希望者）
13：00～	作業3
13：45～	休憩③
(14：00～14：15)	延長作業3（希望者）
15：00～	掃除・終礼
15：20～	送迎（一部利用者）

### 【数値指標】

一日平均利用者	定員の100%を目指す
年間稼働日数	240日
目標工賃月額	30,000円以上

### ③ 野の花工房（就労継続支援 B 型）定員 20 名、（就労定着支援）定員 5 名

#### 【運営方針】

- ・利用者への精神的なサポート強化による、安定通所支援。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策の継続強化。
- ・平均利用者数の増加を図る。
- ・レクリエーションの実施によるリフレッシュの場を提供する。

- ・新規利用者獲得のための諸施策実施  
⇒関係機関（ハローワーク、総合支援学校、相談支援事業所等）との連携及び広報活動の強化。
- ・地域ニーズのキャッチアップと的確な対応による地域と共生した事業の展開。
- ・新型コロナウイルスの感染状況に的確に対応しながら、開催されるイベントへの参加を図る。
- ・自社製品の洋菓子については、主力商品を中心に品目を限定し、作業の効率化と利益の最大化を図る。
- ・自社製品製造ラインの衛生管理の徹底。
- ・関係法令の遵守。
- ・スタッフミーティングによるスタッフの資質向上とチームワーク強化。

### 【就労支援活動】

※目標工賃達成に向けた以下の取り組みを実施する。

- ・利用者個々のスキルアップ支援を実施し、組立作業の拡大を進める。
- ・組立作業技術の適正化を図り不良品ゼロを目指す。
- ・高齢者施設内清掃作業を継続し、地域社会との共生の一助とする。

	施設内	施設外就労
作業内容	菓子製造、自転車部品の組立	草刈・除草・清掃作業（市委託事業、民間業者との契約作業）、高齢者施設内清掃作業

### 【生活支援活動】

- ・季節に応じたレクリエーション活動の実施（下表参照）。
- ・防災訓練の実施による防災意識向上と非常時対応の習得（年間3回実施）。

### 【個別支援活動】

- ・個別支援計画に基づいた個別ニーズ達成のための個別支援の実施。
- ・通所場面から聞き取った内容に基づき、生活面での必要な支援に関する関係機関との連携による支援の実施。

### 【行事計画】

年 月	行事内容等	備 考
4 月	お花見（食事会及び茶話会）	
8 月	暑気払い会（食事会）	
1 2 月	忘年会（食事会）	

### 【基本日課表】

～9：00	送迎等で利用者通所
9：00～	スタッフミーティング、作業準備
9：30～	朝礼
9：40～	作業1
10：45～	休憩①
11：00～	作業2
12：00～	昼食・休憩②
13：00～	作業3
14：00～	休憩③
14：15～	作業4
15：00～	掃除・終礼
15：15～	送迎

### 【数値指標】

一日平均利用者	定員の100%を目指す
年間稼働日数	241日
目標工賃月額	15,000円

### ④ ひびき工房（就労継続支援B型） 定員20名

#### 【運営方針】

- ・利用者への精神的なサポート強化による、安定通所支援。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策の継続強化。
- ・平均利用者数の増加を図る。
- ・レクリエーションの実施によるリフレッシュの場を提供する。
- ・新規利用者獲得のための諸施策実施  
⇒関係機関（ハローワーク、総合支援学校、相談支援事業所等）との連携強化と広報活動の実施、積極的な見学の受け入れ。
- ・令和3年度中に一般就労した利用者への職場定着支援（就労後6か月は就労前に所属していた事業所の役割、以後は就労定着支援事業の利用等による「つなぎ支援」を実施する）の実施。新規就労を目指す利用者への個別支援強化。
- ・関係法令の遵守。
- ・スタッフミーティングによるスタッフの資質向上とチームワーク強化。

#### 【就労支援活動】

※目標工賃達成に向けた以下の取り組みを実施する。

- ・利用者個々のスキルアップ支援により、現行作業の受注量増加を図る。
- ・作業の効率化と不良品ゼロを目指す。

- ・新規作業受入れの余地を作る。

	施設内	施設外就労
作業内容	自転車部品組立	森林公園内清掃及び草刈・除草等管理業務（市委託事業）

### 【生活支援活動】

- ・季節に応じたレクリエーション活動の実施（下表参照）。
- ・防災訓練の実施による防災意識向上と非常時対応の習得（年間3回実施）。

### 【個別支援活動】

- ・個別支援計画に基づいた個別ニーズ達成のための個別支援の実施。
- ・通所場面から聞き取った内容に基づき、生活面での必要な支援に関する関係機関との連携による支援の実施。

### 【行事計画】

年 月	行事内容等	備 考
8 月	暑気払い会（食事会）	
1 2 月	忘年会（食事会）	

### 【基本日課表】

～9：00	送迎等で利用者通所
9：00～	スタッフミーティング ラジオ体操
9：15～	朝礼
9：20～	作業1
10：40～	休憩①
11：00～	作業2
12：00～	昼食・休憩②
13：00～	作業3
14：00～	休憩③
14：15～	作業4
15：00～	掃除・終礼
15：15～	送迎

### 【数値指標】

一日平均利用者	定員の100%を目指す
年間稼働日数	240日
目標工賃月額	30,000円

### 3. 指定特定相談支援事業

#### ① 指定特定相談支援事業所はまゆう

##### 【運営方針】

- ・利用者や家族のニーズを的確に聞き取り、地域生活に必要なサービスを提供するためのケアマネジメント手法に則った包括的な相談支援を実施する。
- ・業務内容として、次の相談支援業務を行う①障害福祉サービスの計画相談（サービス等利用計画の作成及び定期モニタリングの実施）②地域からの一般相談業務③下関市自立支援協議会相談部会等への参加。
- ・研修への参加による相談支援専門員のスキルアップを図る。

##### 【行事計画】

年 月	行事内容等	備 考
4 月	相談支援	
5 月	相談支援	
6 月	相談支援、下関市自立支援協議会相談部会	
7 月	相談支援	
8 月	相談支援、下関市自立支援協議会相談部会	
9 月	相談支援	
10 月	相談支援、下関市自立支援協議会相談部会	
11 月	相談支援	
12 月	相談支援、下関市自立支援協議会相談部会	
1 月	相談支援	
2 月	相談支援、下関市自立支援協議会相談部会	
3 月	相談支援	

##### 【数値指標】

総相談件数	約 2, 200 件 ※内訳 ; ①計画相談 2, 080 件 (各種加算等含) ②一般相談 120 件
-------	--